

<事業計画申請時>

地域課題解決の取組や複数の地域支援機関の相互連携強化等の取組に該当する場合は、チェック  してください。

【課題】

- 各部署が個別に支援企業情報を管理しており、組織全体で共有できていない。
- 名刺や申請書などが紙ベースで、データとして十分に活用できていない。
- モノクロで旧式のメルマガは、SNSなどビジュアル重視の媒体が主流となる中、読みづらく訴求力に欠ける。
- 支援企業が固定化しており、分かりやすい情報発信で、新規支援企業の開拓が必要。



【目的】

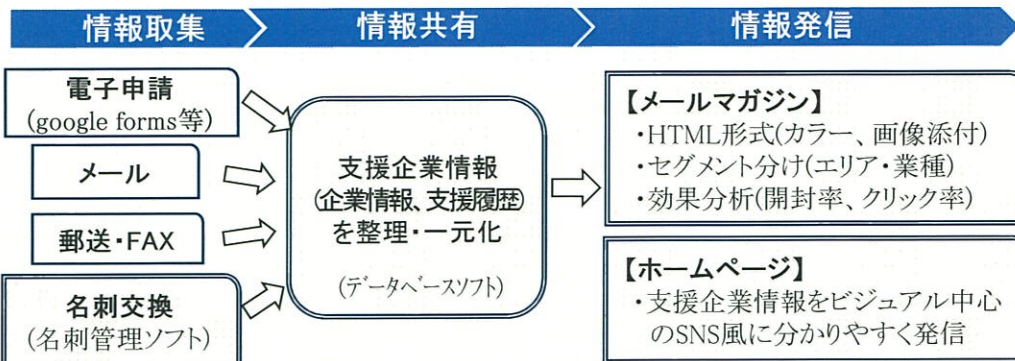
センター各部署が保有する支援企業情報を企業単位で整理・一元化することで、企業の成長段階に応じた適切な支援を行うとともに、効果的な情報発信を実現するため、中小企業支援業務のDX化を推進する。



【県の施策との連携・親和性】

県産業振興行政の実行部隊として、本事業により企業の成長段階や経営課題に応じた支援施策を的確に提供できる体制を強化し、県と連携して県内中小企業の経営基盤の強化と持続的な成長を促進する。

【本事業の内容】



1 支援企業情報の一元化・共有

- 各部署が個別に取得・管理している支援企業の基本情報、支援履歴等を、顧客・業務管理データベースソフト(kintone)に集約する。
- 集約した情報を関係部署で共有し、企業の成長段階に応じた支援を部署横断で連携して実施する。

2 名刺情報のデジタル化

- 職員が取得した名刺を名刺管理ソフトでデジタル化し、kintone上の企業情報と紐づけて管理する。

3 情報発信力の強化(メール)

- HTML形式(カラー・画像付き)のメールマガジンを導入する。
- エリア・業種等によるセグメント配信を試行的に行い、ニーズに即した情報提供を実施する。
- 開封率・クリック率等の効果測定を行い、発信内容の改善につなげる。

現 状	新たな取組
テキスト形式(モノクロ、画像無し)	HTML形式(カラー、画像添付)
セグメント分けなし	セグメント分け(業種、エリア等)
効果分析なし(送りっぱなし)	効果分析(開封率、クリック率)

4 情報発信力の強化(ホームページ)

- センターの支援を受け、今後の成長が期待できる企業を、画像や短文を中心としたSNS風のレイアウトで分かりやすく紹介する。
- 支援事例を可視化することで、センター支援の効果を広く発信する。

【結果ならびに成果の目標】

- データベースに登録した企業数  
目標：5,000件
- メールマガジン登録者数  
現在：1,787件  
目標：2,300件
- 情報発信企業数  
目標：100/年



【波及効果の目標】

- 企業の成長段階に応じた、多様な支援施策を活用した総合的な支援の実現
- セミナー、専門家派遣などセンター支援への応募企業数の増加
- センターの支援を利用する企業の裾野の拡大



【将来の支援目標】

- 現在、紙ベースで行っている支援についても電子化を進め、蓄積されたデータの共有を通じて、より効果的な支援を実現する。